日本文体論学会
第 121 回大会
プログラム

2025 年 6 月 14 日（土曜）

於　桜美林大学プラネット淵野辺キャンパス（PFC）

（ZOOM によるオンライン配信有）

日本文体論学会

日本文体論学会 会員の皆さま

数年来の感染症パンデミックを経て、大会開催のあり方について大会運営委員を中心に検討し、試行錯誤をしてきました。完全オンラインによる開催、対面とオンラインを併用したハイブリッド開催など、新たな様式も取り入れて会員の方々の研究に寄与できるよう努めて参りました。ここまでご尽力いただきました方々に御礼申し上げます。

今回の大会は、昨年は福岡での開催となりましたので、東京での開催となりました。そして、これまでも実施してきたオンラインでの配信も取り入れ、全国（世界中から）参加できるような仕組みも継続していきます。様々な事情で出張が難しい会員の方のためにも今後もこのような形で大会開催を行ってまいります。そのためには会員の皆様の積極的な研究発表が必要となります。

今回の大会が 121 回大会で、これまで多くの知がこの場から生み出されてきたことを誇りに思い、今後も文体論学会の持続的展開を考えて参ります。

2025 年 5 月
日本文体論学会
会長　倉林 秀男

日本文体論学会第 121 回大会　2025 年 6 月 14 日（土）

桜美林大学プラネット淵野辺キャンパス（PFC）4F PF401 教室

（Zoom によるオンライン配信有）

13:00 **受　付**
13:30 **開　会**
　　開会のことば　　会長 倉林 秀男 （杏林大学）
　　会場校あいさつ　　（桜美林大学）

研究発表（**発表時間 25 分、質疑応答 10 分**）　　司会：能勢　卓（福岡女学院大学）
(1)13:40　藤居　真路（英語：広島文化学園大学）
　「Nathaniel Hawthorne が「イーサン・ブランド」の中で語ろうとしたこと－代名詞と鍵になる語句を用いた文体論的分析に基づいて－」
(2)14:20　友繁　有輝（日本語：神戸薬科大学）
　「石破茂首相の施政方針演説（2025）におけるオキシモロンとしての「楽しい日本」―YouTube のコメントによるレジスタンスについて―」

特別講演
15:00　梁井　久江　先生（杏林大学）　　司会：田中　洋（杏林大学）
　「CEFR を活用した日本語学習者のための古典語教育：古典語に慣れるための言語活動に注目して」

16:30 **総　会**
16:45 **閉会のことば**
17:00 **特別企画**　―学会誌編集委員経験者と話してみよう―
　　―大学院の先にある仕事やキャリアをこっそり教えます―

オンラインでの参加を希望される方は、2025 年 6 月 9 日（月）までに、こちらまたは下記の QR コードからお申し込みください。追って、参加に必要な情報をメールでお届けいたします。

研究発表要旨

(1)「Nathaniel Hawthorne が「イーサン・ブランド」の中で語ろうとしたことー代名詞と鍵になる語句を用いた文体論的分析に基づいてー」

藤居　真路　（英語：広島文化学園大学）

本発表の目的は、Nathaniel Hawthorn の Ethan Brand; A chapter from an abortive romance について、藤居（2016）が用いた人称代名詞と鍵となる単語を用いて文体論的に分析する方法を用いて、本作品のプロット構造を明らかにするとともに、Nathinel Hawthorn が本作品で述べたかった主張を探究することにある。

本作品は、1950 年 1 月に the Boston Weekly Museum で出版されたが、1949 年 6 月に the Custom House から不当に解雇され、1949 年 7 月には母親が他界している。この 1950 年は、Scarlet Letter が出版された年でもある。本作品は、タイトルにあるように、「うまく書けなかったロマンス（空想小説）から抜粋した一つの章」である。しかし Nathaniel Hawthorn は、藤居（2017）が指摘しているように、緻密な計算に基づいて本作品を完成している。人称代名詞や鍵となる語をもとに文体論的な分析を行い、プロットの展開に潜む構造を探りながら、Nathaniel Hawthorne が本作品の中で論じたかったことについて迫りたい。

(2) 「石破茂首相の施政方針演説（2025）におけるオキシモロンとしての「楽しい日本」―YouTube のコメントによるレジスタンスについて―」

友繁　有輝（日本語：神戸薬科大学）

本発表は石破茂首相の施政方針演説 (2025) の演説のレトリック分析 (e.g., Charteris-Black, 2018) に基づき、キーワードである「楽しい日本」の性質について考察し、You Tube のコメントにおいていかに国民のレジスタンス (e.g., Gibbs, 2021; Knowles & Linn, 2004) が見受けられるのかを概観する。本研究は、どのように「楽しい日本」が批判されているのかを明らかにし、国民が使用するレトリックの種類とレジスタンスの関係を明確にすることを目的とする。

研究の手順は 1) ATLAS.ti を使用して石破首相が用いている主要なレトリック (e.g., メタファー) にコード付 (Saldaña, 2021) をした上で、演説内での「楽しい日本」の定義を明らかにする。2) YouTube のコメント欄から「楽しい日本」に対する批判を分類し、その分類 (アイロニーによる批判 ・苦しみとの対比 ・ 外国と日本の対比 ・政治家と国民の対比 ・笑いを使う批判 ・歌を使う批判 ・間テクスト性と批判 ・定義に疑義を唱える批判・犯罪との対比 ・子供との対比 ・総理の能力との対比 ・感情の発露など) に基づいて考察する。

本発表は「楽しい日本」が間接的なオキシモロン (e.g., Shen, 1987) の性質を持っているが故に、国民のコメントがアイロニーや対比によってその性質を打ち消す働きがあることを主張する。本発表は演説のキーワードに着眼したが、今後は演説の幅を広げながら、レトリックによってどのような反応が呼び起こされるのかを考察することが課題である。

特 別 講 演 要 旨

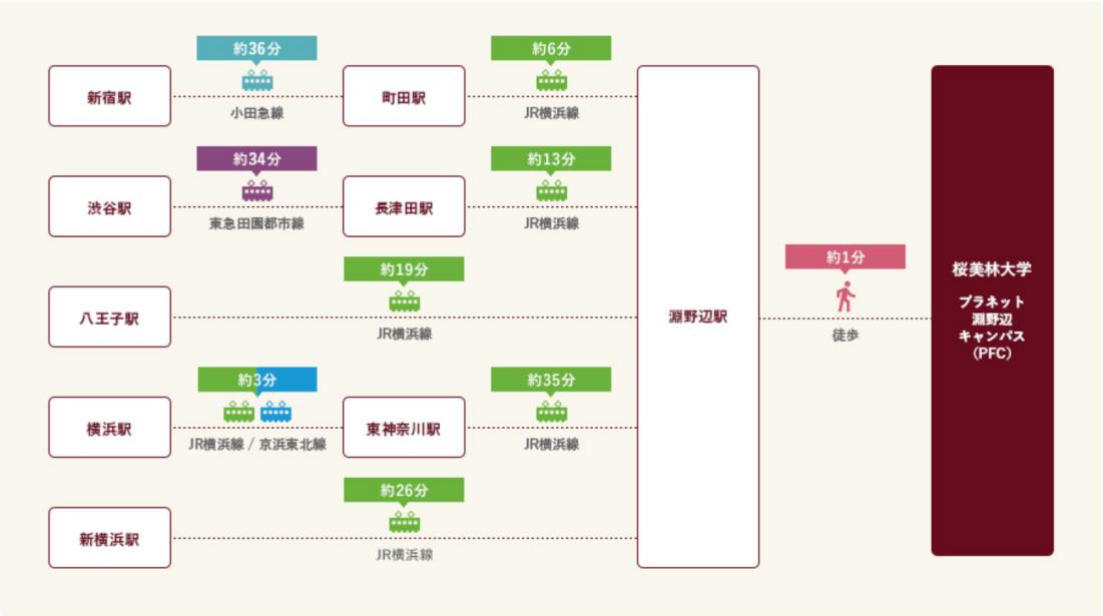
「CEFR を活用した日本語学習者のための古典語教育：古典語に慣れるための言語活動に注目して」

梁井　久江　先生（杏林大学）

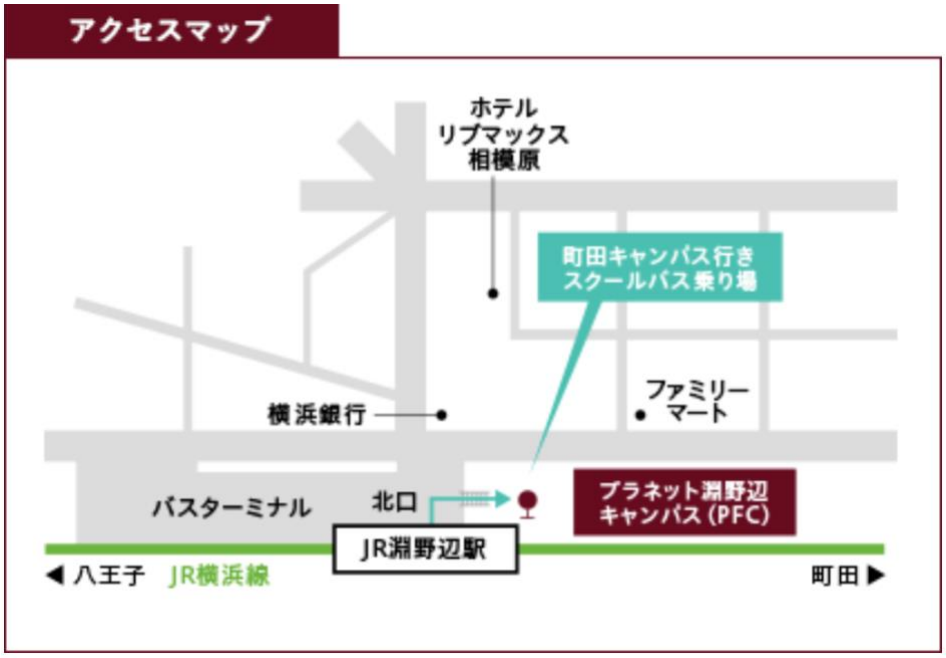
外国語として日本語を学習している人の中には、アニメやゲームに使われる古風な表現がきっかけで古典語に興味を持ち、学んでみたいと思う人がいる。そうした日本語学習者を対象に古典語の入門の授業をするとしたら、どんな活動がありうるだろうか。本発表では、初めて古典語を学ぶ日本語学習者を対象とした古典語教育について取り上げる。従来の教育・研究では古文を読むこと、読めるようになることが活動の主軸、目標となっていたが、それだけでは多様な学習者、多様なニーズに応えることは難しい。そこで、入門の授業の目標を「古典語に慣れる」ことに定めたうえで、CEFR の主要概念や枠組みを参照し、古典語をより身近に感じられる言語活動の方向性について検討した。

会場参加者向け　　桜美林大学プラネット淵野辺キャンパス（PFC）

・主要駅からのアクセス



・淵野辺駅（JR 横浜線）下車



※大学ホームページのアクセス情報も適宜ご参照ください。

https://www.obirin.ac.jp/access/fuchinobe/

〇淵野辺駅周辺のホテル

東横イン横浜線淵野辺南口

https://www.toyoko-inn.com/search/detail/00213/

ホテルリブマックス BUDGET 相模原

https://www.hotel-livemax.com/kanagawa/sagamihara/